

第1学年 国語科 学習指導案

1 教科と単元名

国語科 「ものの 名まえ」 / 「東三商（小）店街をつくろう」

2 単元目標

- ◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。
- 身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。
- 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。
- 積極的に言葉の上位語と下位語に関心を持ち、学習の見通しをもって、自他のよさやもち味を生かして、協働しながら、主体的に言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。

3 単元の評価規準と創造的な資質・能力の素地を育成する視点

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。 ② 身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① すすんで学習課題を理解し、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ② 積極的に言葉の上位語と下位語に関心を持ち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。
創造的な資質・能力の素地		<ul style="list-style-type: none"> ① お店のイメージをグループで話し合ったり、他のお店の良いところを共有したりして、商品を考えている。 ② やり取りの仕方を試行錯誤しながら、「お店屋さんごっこ」をしている。 	

4 単元設定の理由

本単元では、「話すこと・聞くこと」における資質能力をさらに伸ばすため、友達との対話を楽しみながら取り組める『お店屋さんごっこ』の活動を取り入れる。日常生活の中でも、「お店で買い物に行く」「接客を受ける」「新しいお店が開店する」など、経験的に分かっていることも多くある。

そこで、グループで試行錯誤しながらお店のイメージを話し合ったり、お客さんとお店の人の立場に立って話し方を考えたりすることで、創造的な資質や能力の素地を養うことができると考え、この単元を設定した。

5 児童の実態

略

6 指導の手だて

(2) 試行錯誤

お店屋さんごっこをするためには、何が必要かを考え、準備する必要がある。そのために、お店のイメージについて話し合いお店に並べる商品について、相談し合いながら考えを膨らませ、工夫して作る活動を行う。さらに、他のグループのお店の良いところを共有させる。他のグループの考えを取り入れながら活動できるようにすることで、友達と一緒によりよいお店をすすんで作ることができるように促す。

個人で好き勝手に商品を作るのではなく、話し合うことを通して、さらによりよいお店にしたい気持ちをもたせたい。また、友達と分担したり、工夫したり、協力したりして商品を作ることで、お店への愛着心、達成感を得ることができると考えられる。

7 指導計画（6時間）

時	○主な学習活動 (児童がすること)	・指導の留意点(指導者がすること) ★指導の手だて(具体的手だて)	◆評価規準【観点】(方法) ◇創造的な資質・能力の育成に関する視点【観点】(方法)
1	○学習課題を知り、活動の見通しをもつ。	・日常生活における「買い物」の経験を共有することで、「おみせやさんごっこをする」という学習課題につなげる。 ★作りたい商品を考えておくように声掛けをする。	◆【主体的に取り組む態度】① (行動観察、発言)
2	○教材文を読み、一つ一つの名前とまとめてつけた名前があることを理解する。	・「このおみせは、なにやさんでしょう。」 「おじさんは、なぜ、『わからないよ。』と言ったのでしょうか。」という文を基にして、上位語と下位語の関係を考えられるようにする。	◆【知識・技能】② (行動観察、ワークシート)
3	○身の回りにあるものの名前を出し合い、一つ一つの名前とまとめてつけた名前に整理する。	・上位語と下位語のどちらかに偏った発言が続いた場合、教師が意見を述べるなどして、整理できるようにする。	◆【知識・技能】② (発言、ワークシート) ◆【主体的に取り組む態度】① (発言、ワークシート)
4 本時	○グループを作り、おみせやさんごっこの準備をする。	・第3時で共有した内容を参考にしながら、商品を考えられるようにする。 ・上位語と下位語の関係が成り立っているかどうか、準備している様子を教師が	◆【知識・技能】① (行動観察、ワークシート) ◆【思考・判断・表現】① (行動観察、ワークシート)

5		<p>見守り、適宜助言をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を参考に、「お店の人」と「お客さん」が話す内容を練習し、次の活動につなげられるようにする。 <p>★お店のイメージをグループで話し合ったり、他のお店の良いところを共有したりして、商品を考えさせる。〈試行錯誤〉</p> <p>★ロールプレイを通して、お客さんとお店屋さんの立場に立って、どんなことを話したり、どんな話し方をしたりしているかについて考えさせる。〈試行錯誤〉</p>	<p>◆【主体的に取り組む態度】② (発言、ワークシート)</p> <p>◇【思考・判断・表現】① (行動観察、商品)</p> <p>◇【思考・判断・表現】② (行動観察、ロールプレイ)</p>
6	<p>○おみせやさんごっこをし、学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・並んでいる商品とお店の名前を比べることで、上位語と下位語の関係について理解を深められるようにする。 ・「お店の人」と「お客さん」それぞれの立場になることで、言葉のやり取りを楽しみ、活動を通して、言葉がもつよさやおもしろさに改めて目を向けられるようにする。 <p>★「お店の人」と「お客さん」として、どのようなやり取りをすればいいかを、考えて「おみせやさんごっこ」をする。〈試行錯誤〉</p>	<p>◆【思考・判断・表現】① (行動観察、ワークシート)</p> <p>◆【主体的に取り組む態度】② (発言、ワークシート)</p>

8 本時の指導（全6時間中の第4時）

（1）目標

互いの話に関心をもちながら話をつなぎ、お店の名前と商品を考えることができる。

（2）展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】（方法） ★指導の手だて〈具体的手だて〉
導入	○前時の振り返りをする。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">おみせの「かいてんじゅんぴ」をしよう</div>	★前回の活動を振り返り、上位語が「お店屋さんの名前」、下位語が「商品」になることを確認する。 ★第3時で共有した内容を参考にしながら、商品を考えられるようにする。 ★上位語と下位語の関係が成り立っているかどうか、準備している様子を教師が見守り、適宜助言をする。
展開	○お店屋さんごっこをするためには、何が必要かを考える。 ・お店の名前（看板） ・お店の商品づくり ・店員さんとお客さんの道具（かご、トレーなど） ○グループでお店のイメージについて話し合う。 ・かわいいケーキやさんにしたい。 →全体的に白とピンクを使おう。 ・電車がすきな人のレストランにしよう。 →電車をイメージした商品をたくさんつくろう。	★身近なお店（学区内にあるお店）の写真資料を見せ、お店に買い物に行った経験や、教科書94～95ページを参考にし何準備すればよいか考えさせる。 ★お店のイメージをグループで話し合わせ、話し合ったことを発表させる。 ★他のお店の良いところを共有し、取り入れてよりよいものにする意欲を高める。
	○お店に並べる商品についてグループで相談し、商品を考え、商品を作る。	★第3時で共有した内容を参考にしながら、商品を考えられるようにする。 ★上位語と下位語の関係が成り立っているかどうか、準備している様子を教師が見守り、適宜助言をする。 ★個人で好き勝手に商品を作るのではなく、話し合っ、分担したり、工夫したり、協力したりして商品を作ることができるように、各グループに助言する。 ◆互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 【思考・判断・表現】①（行動観察、ワークシート） ◆お店のイメージをグループで話し合ったり、他のお店の良いところを共有したりして商品を考えている。 【思考・判断・表現】①〈試行錯誤〉（行動観察、商品）
振り返り	○本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	★次時は、お客さんとお店屋さんの立場に立って、どんなことを話したり、どんな話し方をしたりしているかについて考えることをして、お店屋さんとしての意欲を高めさせる。

（3）授業観察の視点

- ・身近なお店（学区内にあるお店）の写真資料を見せてから、お店のイメージを話し合わせたことは、話し合いが活発になることにつながっていたか。